



事務事業名	体育協会助成事業	事務事業No.	20403000098	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年12月に発足。旧3町村が合併して桜川市になったことに伴い、旧町村にそれぞれあった体育協会が桜川市体育協会として一本化した。</li> <li>少子高齢化や余暇時間の楽しみ方が多様化し、会員が減少傾向にある。</li> <li>傾向が競技型志向から健康志向に変わってきた。(国・県において総合型地域スポーツクラブ活動の提唱)</li> </ul>					
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設の充実を望んで欲しい。</li> <li>活動している内容や施設の利用等について、分かり易くPRや広報活動をして欲しい。</li> <li>人材発掘、指導者への研修の機会。</li> </ul>					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている スポーツ人口の増大と技術の向上を図り、生涯スポーツの推進、市民の健康増進へ寄与する事を目的とする活動(意図)は、会員がスポーツを通じて健康で明るい豊かな生活を送るといった結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民がスポーツに親しむための受け皿になっており、会員や主催事業に参加した市民がその活動により、上記の意図、結果を生んでいく契機となっているため、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 研修会の開催、各競技団体における大会の開催、市民を対象とした「ふれあいウォーク桜川」の開催等成果は上がってきているが、さらに市民がスポーツをする機会を増やすため、各専門部の活動内容を広報等で周知していく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動の場が減少することにより、運動やスポーツに親しむ機会が失われる。</li> <li>研修会や講習会の機会が失われることにより、人材育成や指導者養成が妨げられる。</li> <li>各個人の費用負担が増えることにより、活動の停滞につながる。</li> </ul>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名   スポーツ推進委員運営事業・スポ少育成助成事業
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 公的な組織として、他にスポーツ少年団・スポーツ推進委員会等があり、これらの団体と連携して事業を行っている。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 現在の厳しい社会情勢の中、会員数が減少傾向にあり、活動費の確保にも一人ひとりの経済的な負担が大きくなり、活動の停滞を招きかねない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市施設の減免規則の改正により、従来各専門部の大会開催時に使用料が全額免除だったのが、半額減免となる。一般利用者との費用負担の公平性が図られていく事になると思われる。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部の大会が実施できないなどの活動の制限がされた状況にあったが、国の新型コロナウイルス感染症ガイドラインにより条件付きの大会がされるなど活動が徐々に以前の状況に戻りつつある。 今後についても、ふれあいウォーク以外にも事業を実施することで市民のスポーツを行う機会の増加が期待できる。																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	○								低下								
成果	向上	コスト																											
		削減	維持	増加																									
維持	○																												
低下																													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 スポーツ協会独自の事業を展開しスポーツの機会を増やしていく。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ②																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>